

登録コード	A3591309	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	片山 茂	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					プレゼンテーションに必要な基礎的技術を修得し、効果的に活用できるようになる。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している							
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					プレゼンテーションに必要な情報を取捨選択し、論理的な構成を組み立てることができるようになる。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。							
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。							
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連 した論文について、スライド等を用いて発表する。最後の授業回到授業アンケートを実施します。							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。							
(7)成績評価の基準	ストーリーをもって論理的に説明できるか、伝わりやすいプレゼン資料を作成するか、質問に対して適切に回答できるかを評価する。							
(8)事前事後学習の内容	プレゼン資料は前もって計画的に作成すること。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	適宜課した課題と最終回に提出した課題の内容							
(11)質問、相談への対応および連絡先	適宜対応します。							
(12)履修上の注意	特になし。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）							